

# あすなろ通信

茅ヶ崎高校校長日より  
No.18 平成30年7月12日

## 忘れ得ぬ生徒たち(5) ～褒められ方を知らないと言った彼女～

みなさんはたくさん能力と可能性を持っています。しかし、それがうまく発揮できずにいる場合もあるようです。何かに一発懸命取り組んで、その成果が出たときは大きな自信につながります。小さな一歩でもかまいませんので、はじめの一歩を踏み出していきましょう。

### [褒められ方を知らないと言った彼女]

彼女は数学があまり得意な方ではなかった。授業中は内容を理解しているものの、なかなかテストの結果に結びつかないでずっと苦労していた。

3学期のテスト直前の授業を、彼女は体調が悪くて欠席した。この授業は、テスト対策として復習の時間を取り、質問の時間を設けながら、これまでの内容をまとめさせるのがねらいだった。この授業に欠席して、彼女のテストの準備は大丈夫だろうかという不安が広がった。

やがてテストの日がやってきた。教室にテストの見回りに行ったとき、彼女は解答用紙に向かって奮闘していた。テストが終って、こちらも緊張しながらすぐに彼女の解答用紙の採点を始めた。最初の問題は基本問題なので、ここは無事にクリアした。問題が進むにつれて、難易度が高くなる。いつもは途中からミスが増えていき、点数が伸びなかった。ところが、この時のテストは違っていた。何問かミスはあったものの、解答用紙はマルで埋め尽くされていた。得点は80点だった。

テスト後に、廊下にいた彼女を見つけたので、このうれしさをすぐに伝えようと声をかけた。「今回はよくがんばった。80点だったぞ！」と、自分のことのように喜びながら声をかけた。ところが彼女は、「別に勉強してなかったですよ」と素っ気ない返事だった。うれしい気持ちが一気に萎え、かなり落ち込んだ。

彼女と卒業式の前日に話しをした。「君には一度だけショックを受けたことがある」と、テストの結果を伝えた時の思い出を話した。それを伝えたときは、あまり気にしていないように見えた彼女だったが、友達にあとから聞いた話によると、「先生に嫌われた、とかなりへこんでいた」とのことだった。

卒業式のあとに、彼女が挨拶にきた。へこんでいると聞いていたので、落ち込ませるつもりはなかったことを伝えた。彼女は、「もう気にしていませんから大丈夫で

す」と、屈託なく笑ってくれた。少しホッとした。

そのあと、続けて彼女は次のように言った。「私、褒められたことがなかったから、あのときは恥ずかしくて、どうしてよいかわからなかった」

成功体験が少なく、自分に自信の持てない生徒が多いようには感じていたが、この言葉はかなり衝撃だった。明るく元気に学校生活を送っているように見えた彼女だったが、いろいろな思いを胸に学校生活を送っていたことに、あらためて気がつかされた。しかし、彼女にとって人生最後の数学のテストでよい結果が出せたことは、きっと大きな自信になってくれたことだろう。

あとで聞いた話だが、テスト前の授業に欠席した彼女の家に、担任の先生が教科書やプリントを届けに行ってくれていた。それを受け取った彼女がテスト勉強に一生懸命に取り組み、80点という好成绩に結びついた。彼女の数学についての苦労を知っていた担任の先生は、「そのとき家庭からいただいた抹茶どら焼きの味は、一生忘れられない」と語っていた。

生徒の可能性を引き出せたときの喜びは、教員にとって何事にもかえがたい喜びです。



## 茅高ニュース ～茅高よ、世の荒波を分けて進め～

### [全日制]

#### 体育大会で盛り上がりました

6月8日(金)、平塚市総合公園陸上競技場で、晴天の下、第30回体育大会を行いました。茅ヶ崎高校は、今年創立70周年記念行事も控え、まさにメモリアルな体育大会になりました。

恒例となっているチアリーディング部の演技や3年生の応援合戦を始め、どの競技も見ごたえのあるものばかりでした。この大会のために、多くの役員の生徒が協力してくれたことや、多くの保護者の方に参観いただきましたことに、心から感謝したいと思います。

この大会の中心となって活躍してくれた、体育大会副実行委員長の3年松山由莉香さんの言葉を紹介します。

競技タイムの記録や会場準備、種目の決定などを行いました。体育大会前から集まり、昨年は体育館での実施になった分、先生方や3年生の記憶もあいまいになってしまった所もありましたが、「体育大会を成功させたい」と言う気持ちで、一つにまとまり準備しました。

当日は、1,2年生は初めての体育大会、3年生は最後の体育大会と言うことで、大いに盛り上がりました。総合結果発表は終業式に持ち越しになってしまいましたが、各部活動、委員会、係のおかげで、また全校生徒の盛り上がりのおかげで、「体育大会」を成功させることができました。

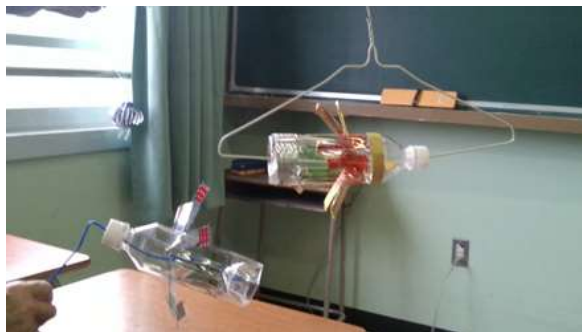
## 畑 EVERYDAY

今年の2年生から、新しい選択科目「人とくらし」がスタートしました。この科目は、自分理解、他者理解、コミュニケーションスキル、社会の一員として暮らしていくためのスキル、そして生きる力などを身につけるための科目です。教室で学ぶ授業の他にも、畑作りにもチャレンジしています。今年、授業を受けている生徒の声を紹介します。

茅ヶ崎高校には畑があります。それは僕たちが作りました。場所は、北門横、保健室の前です。トマト、サツマイモ、ピーマンを作っています。これは、選択科目（人とくらし）の授業の一環で、みんなで作っています。



畑づくりは大変なことがありました。1つ目は、雑草の根が深かったことです。2つめは、土を耕すときに土が堅かったこと、土ふるいも大変でした。今は、花が沢山咲いており実もいくつかなっています。ちなみに今の問題は、カラスがいたずらするときたので、鳥よけの手作り風車を作る対策を行っています。



私たちは、畑をカラスやスズメなどの鳥に荒らされないために鳥よけを作りました。今回はアルミ缶や、ペットボトルで鳥よけを作りました。アルミ缶で作った人は缶にカッターで曲線を入れる

ことが、ペットボトルで作った人は羽の調整することが大変だと言っていました。

皆、それぞれ苦戦しつつも、楽しそうに作業をしていて、完成したときの達成感が大きかったのか、満足そうな表情をしていました。私も今回の鳥よけ作成はとても楽しく、良い経験になったと思いました。

## [定時制]

### 新入生歓迎会遠足でカレー作りやバーベキューをしました

例年、新入生歓迎会は、新入生に先輩方が作った料理を振る舞い歓迎の意を表す行事でしたが、今年は、趣向を変えて、柳島キャンプ場でデイキャンプを行う「新入生歓迎会遠足」を、6月1日(金)に実施しました。



1・2年生が「カレー」、3・4年生が「バーベキュー」を作り、お互いの作ったものを一緒に食べるという形にして、交流を図りました。火おこし、野菜切り、煮方、焼方、後片付けをみんなで協力して行い、活動的な行事になりました。

お腹がいっぱいになった後は、竹を一生懸命に削ってヤスリをかける「MY箸」作りに没頭して、あっという間に時間が過ぎました。天気がよく暑かったので、ジャグに用意された冷たい麦茶がおいしかったです。(担当：武藤)

### 性感染症予防講演会がパワーアップして行われました

6月27日(水)、これまで講演会を行っていただいていた茅ヶ崎市保健所の職員の方に加えて、市立病院、児童相談所、市役所の職員の方で構成された「命を大切に

する啓発講座プロジェクトチーム」の皆さんが、寸劇や体験コーナーを交えながら、性感染症予防に関する講演会を行っていただきました。高校生が性病に感染したり、妊娠したりする寸劇の他にも、妊婦体験、赤ちゃんの泣き声体験も行いました。また、揺さぶられ症候群の話しを聞いたり、武藤先生の出産立会い体験談を聞いたりするなど、様々な角度から命の大切さを改めて認識することができました。